



刈谷市議会議員
なか しま

中嶋よしゆき



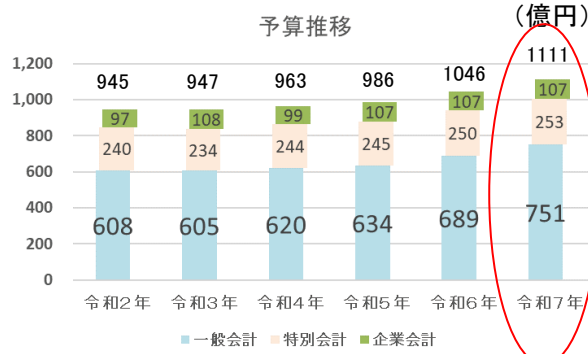
市政報告 Vol. 59

発行日：令和7年4月吉日

□ 常任委員会：福祉産業委員会 □ 刈谷知立環境組合議会議員
□ 市民クラブ 会派代表
◆ 1986年 愛知大学卒 アイシン精機入社 2023/7～ 4期目当選

ごあいさつ

やっと春満開、初夏のような陽気も増えて大変過ごしやすい季節となりました。3月までは乱高下する気温に体調を崩された方も多いのではないのでしょうか。電に花粉に黄砂飛来、春の風物詩ですがあまり歓迎されないものばかりです。



3月末にミャンマーで発生した、M7.7の大地震で多くの死者と負傷者がありました。建物の脆弱性が否めず、犠牲が拡大していると思われます。日本も阪神淡路大震災、東日本大震災、能登半島地震を決して忘れることなく、また他にも豪雨、各地に発生した山火事などのリスクにも、日ごろから備えていく必要があると考えます。

さてグラフのとおり、コロナ禍で低調だった税収も増加に転じ、2年連続して1千億円を超える予算となりました。「トランプ関税」で先行き不透明な状況ですが、3月議会では令和7年度の施政方針／教育方針、当初予算が示されました。市民サービスを向上させ、「刈谷市すごいね」と言われる、持続可能な社会をめざします

命を守る
準備を優先!



令和7年度 施政方針／教育方針

施政方針の4本柱

- 安心して暮らし続けられる快適なまちづくり
- 生涯にわたって学び地域への愛着を育むまちづくり
- 人と技術でにぎわいを創り未来につながるまちづくり
- 支えあい誰もが安心して暮らせるまちづくり

行政マネジメント (DX、効率化等) で支える

教育行政方針

- 学校教育の充実
※知・徳・体・礎で共に生き未来を創造する子どもの実現
- 科学的思考の育成
主体性の育み等
- 生きがいをもつ生涯学習都市づくり
人づくり仲間づくり
- ※一人ひとりが自発的に学ぶ、生涯生き生きした充実人生
スポーツ振興等

市政施行75周年



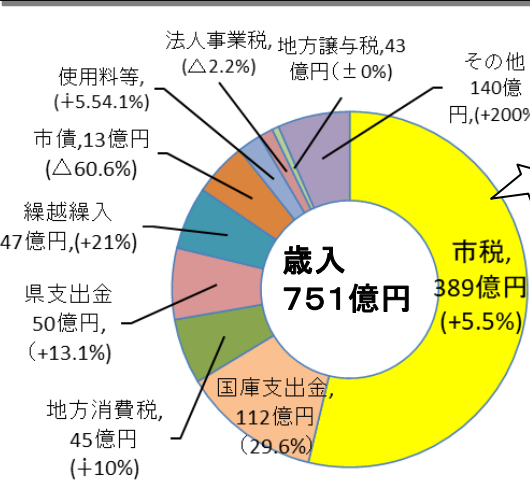
わたしたちの夢と
共にはばたくかりや

記念事業の一例

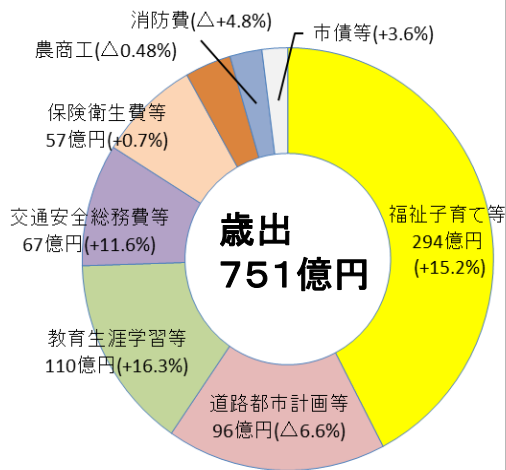
- アジア・アジアパラ競技大会
・車いすラグビー、サッカー
- 音楽フェス開催
・11月1日 亀城グラウンド等
- NHKのど自慢
・コロナで中止のイベントを再誘致
- 東京フィルハーモニー交響楽団
・6中学校の代表生徒と共演



令和7年度予算(一般会計)



| | R7 | R6 |
|---------|--------|--------|
| 自主 | | |
| 市税 | 38,865 | 36,836 |
| 繰越繰入 | 4,743 | 3,919 |
| 使用料等 | 1,565 | 1,484 |
| その他 | 4,900 | 3,263 |
| 依存 | | |
| 市債 | 1,318 | 3,342 |
| 国庫支出金 | 11,193 | 8,637 |
| 県支出金 | 5,019 | 4,436 |
| 地方消費税 | 4,476 | 4,070 |
| 法人事業税 | 870 | 890 |
| 地方譲与税 | 429 | 428 |
| (自)取得税 | 1 | 1 |
| 環境性能割 | 120 | 130 |
| 地方特例交付金 | 225 | 1,000 |
| その他 | 1,396 | 464 |
| 合計 | 75,120 | 63,360 |



令和7年度の主要事業(抜粋)

(1) 公共交通再編事業・・・191,425千円

※公共交通のさらなる利便性向上を図り有料化する

- ①かりまるの路線を再編(R8/2予定)
 - ・公共⇒生活施設
 - ・一部路線増、便数増(10便へ増便)
- ②乗合い型「デマンド交通」の導入検討
- “チョイソコ”の実証エリアの拡大等



(2) ①ウイングデッキ整備事業・・・634,556千円

(①R6～8年度の継続事業 1,547,348千円)



- ①デッキ整備
(株)デンソー方面の人流の整流化
- ②県道を跨ぐデッキ
延伸を提案中
トヨタGが集積するエリアへ安全な移動空間を確保
- ③産振センター方面の賑わいづくりを提案

(3) 教育/文化等の環境整備

(単位 千円)

- ①給食費の補助事業・・・145,885千円
 - ・保護者負担 (幼)220円 (小)250円 (中)280円/食
 - ・公費負担 材料費不足分46円/食を補填
- ②放課後子ども教室音楽活動推進・・・4,682千円
 - ・小学校部活動中止(R8)、地域と連携し音楽教室を開催

(4) 産業振興

(単位 千円)

- ①チャレンジショップ事業・・・11,900千円
 - ・市内で創業、出店検討者のプレ事業開催、指導支援など
- ②依佐美工業立地(2期)・・・79,674千円
 - ・面積:約25ha(1期開発の約1.6倍)
 - ・期限:令和14年度末引き渡し完了
 - ・市内外企業を積極的に誘致
 - ・本社やR&D機能も歓迎



(5) 福祉安心

(単位 千円)

- ①避難所マンホールトイレ整備・・・35,669千円
 - ・刈谷北高校、刈谷工科高校、刈谷東高校
- ②防犯カメラ設置補助(個人宅屋外設置分)・・・2,000千円
 - ・2分の1、上限1万円、録画機能付きカメラ等の条件あり

議会質問(抜粋)

Q.刈谷豊田総合病院の支援の在り方について市の考え方は?



A.県承認の地域医療支援病院
第3次救急医療施設として救急救命センターの使命
病診連携の中心的役割、市民病院的病院として
市民へ医療環境を提供

Q.予算2億円余の拡充の考え方は?



A.高度医療の提供、安全安心な病院環境
救命救急センター運営の人材確保
医師・看護師などの確保、育成
周産期医療の拡充が急務であることを認識している

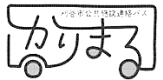
【意見】質の高い医療を継続的に市民に提供しなければならない。優秀な医師をはじめ人材の確保が難しい時代と聞く。高度医療、地域連携等の環境整備で選ばれる病院へ支援すべき

Q.少子化の時代に、新たな保育所誘致(新富町)が提案、今後の保育ニーズをどのように見通しているか?



A.子供の人口は減少傾向だが、育児就業環境が整備されたこと、人手不足、物価高騰を背景に共働き世帯が増加。また育児休業から1～2年での復職が増加する

Q.かりまるの有料化に関し、どのように市民理解を得られると考えているか?



A.6月の運賃料金協議会で決定するが、200円が妥当と意見あり。高齢者など交通弱者に配慮して運賃設定を検討する。また市民だより、公式SNS等で丁寧に広報する

【意見】有料化に値する付加価値が見当たらない。最低でも1便/時間以上を確保するなどの目玉政策が重要。チョイソコを北部に限定せず、全エリアに展開すべき!

アイシンとの連携活動

①ミササガパークで駐車管理支援システムの実証実験を開始。高精度な車両・人認識技術を活用し安全性を向上(試験中)



②議場での議員、市の発言をYYシステムで文字表示し、障がい者の方にもやさしい議会運営が可能となる(検討中)



③自転車道設置に向けた検討
自転車ネットワークの優先整備区間
刈谷駅～(株)アイシン本社横～恩田交差点まで

- 『自転車道の種類』
- ①矢羽根
 - ②自転車通行帯
 - ③自転車道



- ・経済成長、環境対策
- ・自動車税、ガソリン税
- ・103万円の壁
- ・国政に声を届けよう!



参議院議員

いそざき 哲史

公式サイトはこちら



〒448-0021 刈谷市八軒町2-75番地1 ☎(0566)24-8831 Fax(0566)24-1675

E-mail: yoshiyuki.nakajima@ai-wu.aisin.co.jp 公式HP: http://www.giin-aiwu.com/nakajima/top/